



「ディスクロージャー優良企業」受賞に寄せて

株式会社オリエンタルランド 取締役 常務執行役員 横田 明宜

このたびは2019年度（第25回）ディスクロージャー優良企業（広告・メディア・エンタテインメント部門）に選定いただきありがとうございます。ひとえに投資家・証券アナリストの皆さまをはじめ、当社を支えてくださる皆さまのご支援の賜物であると、改めて感謝申し上げます。

当社は、「千葉県浦安沖の海面を埋め立て、商業地・住宅地の開発と大規模レジャー施設の建設を行い、国民の文化・厚生・福祉に寄与すること」を目的に、1960年に設立しました。1983年の東京ディズニーランドの開園以来、当社は一貫して、世代を超えて共感できる価値を提供し続け、心の安らぎや活力を生み出してまいりました。

事業を通じ、一つでも多くの笑顔を生み出していけるよう、常に顧客の視点に立ち挑戦し続けてきた経営姿勢は、IR活動においても一貫しています。「対話する経営」を経営姿勢の一つとして位置付け、投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまに対し、公正かつ適時・適切な情報開示、投資判断に影響を与える事項の積極的な開示を行い、相互理解と信頼の形成に努めてまいりました。

現在、当社は「2020中期経営計画」（2018年3月期～2021年3月期）を、2021年度以降の更なる成長に向けた重要な期間と位置付け、コア事業である東京ディズニーリゾートの長期持続的な成長のための事業基盤づくりに取り組んでいます。当計画において最重要視している「ゲストの満足度」といった目に見えない目標の達成状況を分かりやすくお伝えするため、日頃より積極的な情報開示を行い、新たに導入

したアトラクションなどを体験いただく機会を設けています。ゲストの満足度向上に欠かすことのできないキャストのホスピタリティについても、オペレーションを担当する執行役員より、戦略の内容や評価方法などについて直接説明する機会を設けました。このように、数字や活字では伝えることのできない活動こそが、当社の企業価値を伝える上で最も重要なIR活動と位置付けて、力を入れて取り組んでいます。昨年度は、投資判断に大きな影響を与える大規模な開発計画の発表も行いましたが、投資家・証券アナリストの皆さまの当社事業に対する理解を第一に考えて、施設見学会などで、開発計画の規模感や進捗を視覚的に理解していただけるよう説明を行いました。

また、「対話する経営」については、経営トップも重要視しており、投資家・証券アナリストの皆さまからのご意見を直接お聞きするスモールミーティングなどの機会を定期的に設けています。

その姿勢は社内IR活動においても活かされており、半期ごとに従業員に向けたIR説明会を行っています。直接ゲストに接する部門の従業員にも皆さまの声が届く体制を構築することで、役職員一丸となって期待を超える事業成長を実現していきたいと考えています。

「テーマパークは永遠に完成しない」の言葉通り、当社事業の挑戦に限界や完成形はありません。IR活動においても、決して現状に満足することなく、証券アナリストや株主・投資家の皆さまとの対話を通じて、進化を続けていく所存です。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。